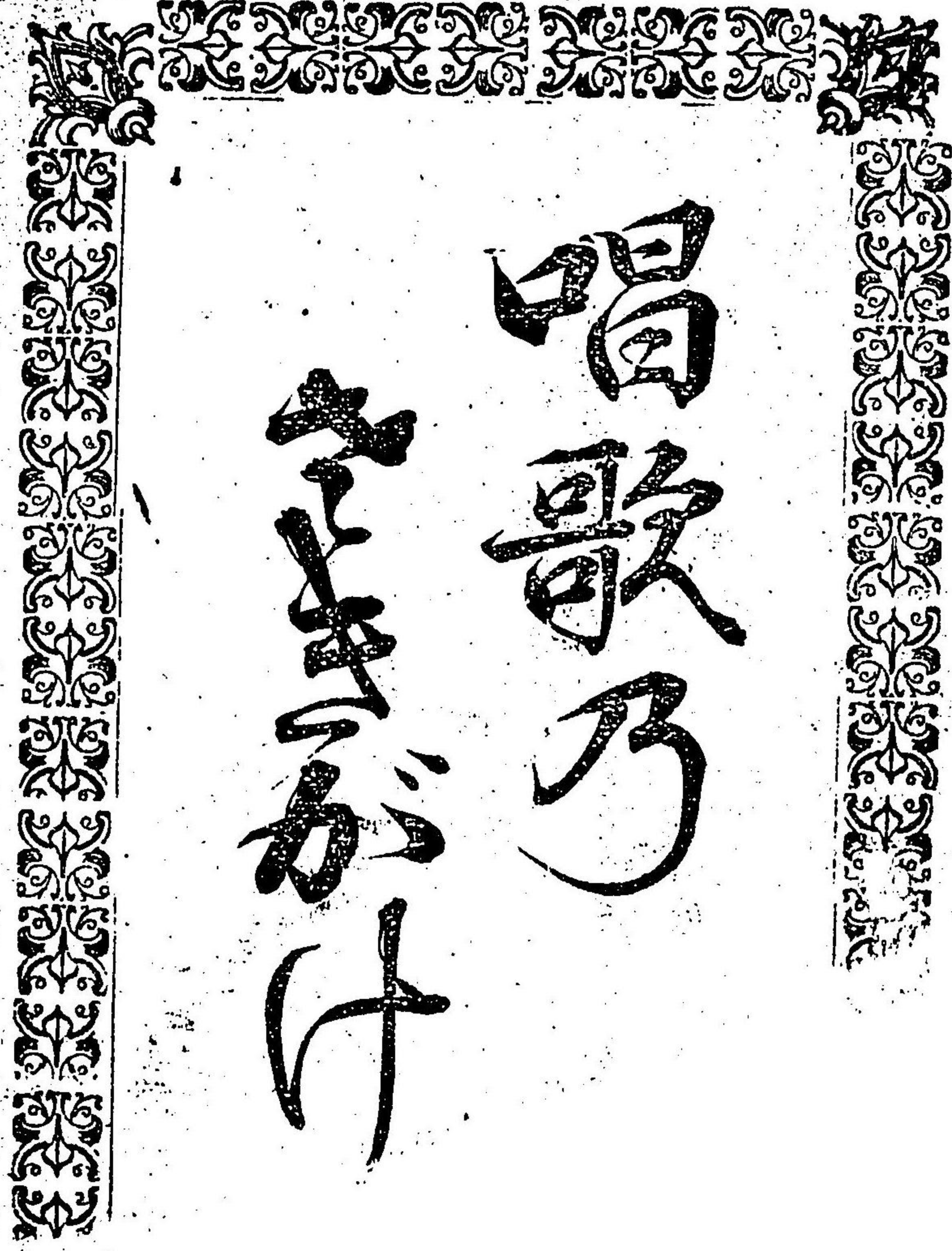


20-77

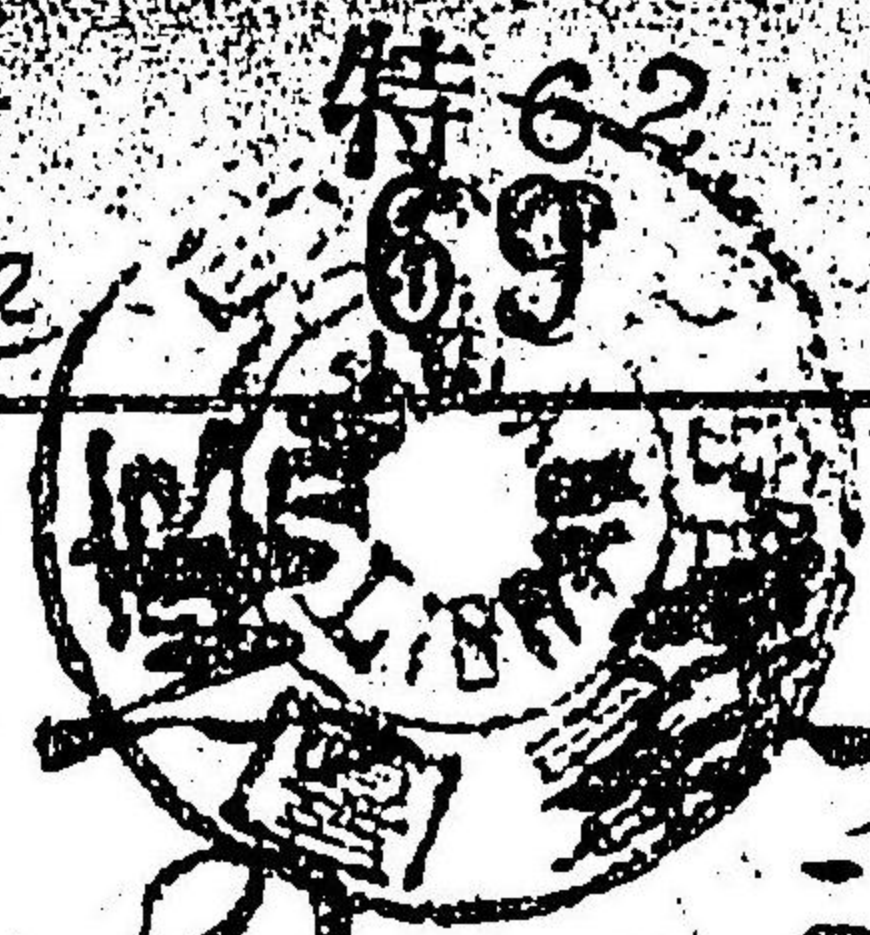
3950

13



歌唱乃
其子

No. 1843



この文書は
東京の
文書
部
に
送
付
さ
れ
た
と
思
は
れ
る



東京の
文書
部
に
送
付
さ
れ
た
と
思
は
れ
る

東京の
文書
部
に
送
付
さ
れ
た
と
思
は
れ
る

と か た え す

隅田川原に。あさけ夜
 水もみそらに。そ
 みわたる。かせのまに
 く。ふねうけて。月
 よあそをん。夜もすの
 ら

唱歌のそとぎけ

譜 く し あ お

7 1 - 2	3 3 2 3	5 4 3 2	3 - 0 -
す - みた	みはらの	あさけ	け -
3 - 3 3	4 4 3 2	1 1 7 1	2 - 0 -
み - づも	もろらに	すみわた	る -
1 - 1 2	3 3 2 3	4 4 3 2	3 - 0 -
か - せの	まにまに	ふねうけ	て -
3 - 3 3	2 3 1 1	2 2 3 2	1 0 - 0 -
ら - きに	あそばん	1もすの	ら -

次

目

- 隅田川 (譜附)
- おぼろふにやふ
- 明けのひさき (譜附)
- 我が日の本 (譜附)
- 學びのちから (譜附)
- はたなる
- 野邊のそとぎ (譜附)
- 桃のそとぎ

以上

- 三景 (譜附)
- 玉ちる籠 (譜附)
- 鐵譜の歌 (譜附)
- 市區改正の歌 (譜附)
- 西郷隆盛翁を吊ぶ歌
- 桃太郎の歌
- 衛生のそとぎ

と が た き す

隅田川原に。あさぼら
 氷もみそらに。そ
 みわたる。かせのまに
 く。ふねうけて。月
 むあそむん。夜もすが
 ら

唱歌のよみかた

譜 く じ め か

7 1 - 2 す - みだ	3 3 2 3 が は ら の	5 4 3 2 あ さ ぼ ら	3 - 0 - け - -
3 - 3 3 み - づ も	4 4 3 2 き ろ ら に	1 1 7 1 す み だ	2 - 0 - る - -
1 - 1 2 か - せ の	3 3 2 3 ま に ま に	4 4 3 2 ふ ね う け	3 - 0 - て - -
3 - 3 3 つ - き に	2 3 1 1 む そ ぼ ん	2 2 3 2 よ も す が	1 0 - 0 - ら - -

- 隅田川 (譜附)
- あさぼら (譜附)
- 氷もみそらに (譜附)
- みわたる (譜附)
- く (譜附)
- ふねうけて (譜附)
- 月 (譜附)
- むあそむん (譜附)
- 夜もすがら (譜附)
- 三景 (譜附)
- 玉ちる (譜附)
- 鐵道の歌 (譜附)
- 市區改正の歌 (譜附)
- 西郷隆盛の歌 (譜附)
- 練太郎の歌 (譜附)
- 衛生の歌 (譜附)

○おぼろよにはゆ

(一)おぼろよにはゆ。ゆふひさ夜。さかりよにはゆ。
 まつら。長閑にて。のせびき御代の。たの
 しみ。とまなくかげの。このまある。このう
 たげ。

(二)千草にすだく。むしの聲。そぎの葉そよぐ。風
 のおど。身にしみて。眼にみるものも。なく物も。
 あこれをとふる。あきの夜や。つきのよち。

○明けのがすみ

- (1)明けのかさを。分けもげば。東風ふくかせも。
 憎くらじ。瓢のさくは。つくるども。花の雪ちる。
 とこつまで。
- (2)風のもふ暮。舟うけて。さし行く流れの。隅田川。
 晝れ暑さも。忘る程。心どけもく。つきのかけ。
- (3)露の尾花を。とけもげば。千草のむしの。そだく
 あり。月のげ木の間に。かたふげば。水の音こそ。
 立まされ。
- (4)森のこがら。吹すさむ。冬もなかばは。すぎよ
 けり。いけのみぎはの。をし鴨も。うさ寝のゆめ
 をぞ。むすふなる。

おきじく譜

	6	7	7	6	6	5	5	4	4	5	4	3	—	—
(1)	ゆ	け	れ	の	す	み	を	わ	け	も	け	ば	—	—
(2)	ゆ	せ	の	の	も	ぐ	れ	ふ	ね	う	け	て	—	—
(3)	つ	ゆ	の	を	ば	な	を	わ	け	も	け	ば	—	—
(4)	も	り	の	こ	が	ら	し	ふ	き	そ	さ	じ	—	—
	4	4	5	5	6	6	5	5	6	6	7	7	6	—
(1)	こ	ち	ふ	く	か	せ	も	に	く	か	ら	ら	じ	—
(2)	さ	し	も	く	あ	れ	の	す	み	だ	く	な	り	—
(3)	ち	ぐ	さ	の	じ	ま	の	す	だ	き	に	け	り	—
(4)	ふ	も	も	も	な	ば	り	そ	ぎ	に	け	り	—	—
	6	6	7	7	6	6	5	5	4	4	5	4	3	—
(1)	ひ	さ	の	の	さ	さ	の	つ	く	る	ど	も	—	—
(2)	ひ	る	の	の	あ	つ	さ	も	と	る	は	も	—	—
(3)	つ	さ	か	け	こ	の	ま	に	か	さ	ふ	け	も	—
(4)	い	け	の	の	み	ぎ	は	の	を	しか	も	も	—	—
	4	—	5	5	6	6	5	5	6	6	7	7	6	—
(1)	と	—	な	の	も	さ	ち	る	と	こ	ろ	ま	で	—
(2)	こ	—	ろ	の	と	け	も	く	つ	さ	の	か	げ	—
(3)	み	—	づ	の	を	と	こ	そ	た	ち	ま	さ	れ	—
(4)	う	—	ね	の	も	め	を	ぞ	む	す	ふ	き	る	—

○我が日れ本

(甲) 我が日の本の。まをらと

い。ひるまぬ心。身よ修

め。外国人に。おとらと

はげさて見びをば。

みざくべし。

(乙) 雲井にあがる。鳥のこゑ。ここのへ深き。大ぞらと。うらやまおもふ。それよ。まあびて千代に。名をあげよ。

	3	3	3	2	3	5	5	5	3	3	3	2	1	—	—
(甲)	見	び	ひ	の	も	—	と	の	ま	そ	ら	を	ハ	—	—
(乙)	く	も	ぬ	に	あ	—	が	る	と	り	の	こ	ゑ	—	—
	3	3	3	2	3	5	5	5	3	3	3	2	1	—	—
(甲)	ひ	る	ま	ぬ	あ	—	こ	ろ	み	に	お	さ	め	—	—
(乙)	こ	こ	の	へ	ふ	—	か	き	お	ほ	ぞ	ら	を	—	—
	6	6	6	6	6	5	5	5	3	2	3	5	6	5	5
(甲)	と	つ	く	に	び	—	と	に	お	—	と	—	ら	と	—
(乙)	う	ら	や	み	お	も	—	ふ	を	—	れ	—	よ	り	も
	6	6	6	6	6	5	5	5	3	3	3	2	1	—	—
(甲)	は	げ	ま	て	見	ざ	を	バ	み	ざ	く	べ	し	—	—
(乙)	ま	あ	び	て	ち	よ	—	に	な	を	あ	げ	よ	—	—

○學まなびのちから

(丙) まなびのちから。つよければ。如何いかあることも。うなふべし。大和やまともろこし。をしるべて。同じおなやまれれ。身みのつとめ。丁さほ窓照まほるやたる。にいの雪ゆきうがてる壁かべの。ともし火ひも。學まなびのちから。たもとあく。ひとすぢ道みちを。たどるあり。

	3	3	3	2	3	5	5	5	3	3	3	2	1	—	—
(丙)	ま	な	び	の	ち	—	—	—	つ	よ	け	れ	バ	—	—
(丁)	ま	な	び	の	は	—	—	—	に	い	の	は	バ	—	—
	3	3	3	2	3	5	5	5	3	3	3	2	1	—	—
(丙)	い	か	あ	る	こ	—	—	—	か	あ	ゆ	べ	し	—	—
(丁)	う	が	て	る	の	—	—	—	ど	も	し	ひ	も	—	—
	6	6	6	6	6	5	5	5	3	2	3	5	6	5	5
(丙)	や	—	ま	ど	も	る	こ	し	と	し	あ	べ	て	—	—
(丁)	ま	な	び	の	ち	—	—	—	た	も	み	あ	く	—	—
	6	6	6	6	6	5	5	5	3	3	3	2	1	—	—
(丙)	お	—	あ	じ	ほ	ま	れ	の	と	は	つ	と	め	—	—
(丁)	ひ	と	そ	ぢ	み	—	—	—	と	ど	る	な	り	—	—

○ほたる

(一) ほたるはひかり。まほのゆき。ふもと月つき日ひ。かたねつと。うつしの年も。まほのとぞ。あけてぞけつ。わかれゆく。
 (二) まるもゆくも。かぎりやて。うたまに思おもふ。千万ちぢうばんの。心こころのはしき。ひとこと。まほくとまほのり。うたふと。
 (三) つくしのたはま。みちのおく。うま山やまとほく。うたつとも。そのまごころ。うたてあぐ。ひとつにつくせ。くにのため。
 (四) ちまのおくも。あまあはま。あしゆのうまの。まもりなり。うたふんくにし。うたふし。うたふし。うたふし。うたふし。

おなじく譜

(1) のいしゑ	1	2	2	6	6	5	5	2	2	2	1	2	—	○	○
(2) いしゑ	—	—	—	6	6	5	5	2	2	2	1	2	—	—	—
(3) しゑ	—	—	—	6	6	5	5	2	2	2	1	2	—	—	—
(4) ゑ	—	—	—	6	6	5	5	2	2	2	1	2	—	—	—
(1) どかたよ	1	2	2	3	3	5	3	2	2	2	1	2	—	○	○
(2) かたよ	—	—	—	3	3	5	3	2	2	2	1	2	—	—	—
(3) たよ	—	—	—	3	3	5	3	2	2	2	1	2	—	—	—
(4) よ	—	—	—	3	3	5	3	2	2	2	1	2	—	—	—
(1) こかむこ	6	6	6	6	—	1	3	6	6	5	6	2	—	6	2
(2) かむこ	—	—	—	6	—	1	3	6	6	5	6	2	—	—	—
(3) むこ	—	—	—	6	—	1	3	6	6	5	6	2	—	—	—
(4) こ	—	—	—	6	—	1	3	6	6	5	6	2	—	—	—
(1) まこむや	3	3	5	5	6	6	5	2	2	2	1	2	—	○	○
(2) こむや	—	—	—	5	6	6	5	2	2	2	1	2	—	—	—
(3) むや	—	—	—	5	6	6	5	2	2	2	1	2	—	—	—
(4) や	—	—	—	5	6	6	5	2	2	2	1	2	—	—	—

○野邊のみどり

(1) 野邊のみどり。あさぼらけ。鳥のこゑさへ。うり
れもく。こころも空の。うげろふに。まよへる蝶
そ。うたてけれ。

(2) 池にはたると。みだれけり。風に柳れ。さびさけり。
彼誰時の。つきのげに。心やるさへ。そしけれ。

(3) 鹿のこゑと。さくとさは。たび寝のうき身を。あ
こちつと。わがよふけもく。月のげに。むすべるも
めこそ。あはれなれ。

(4) 霜のおちはの。ゆふまぐれ。みどりし野さちの。あ
ともなし。言葉はさの。さうねとも。やがてみど
りの。こゑをまつ。

○机のもと

- (一) 机のもとよ。よりそは。ふよむ月日。うなぬれ
は。いつしうちゑも。ますうも。ひうりを千代に。
はあつなる。
- (二) まあびのまごよ。文よこて。こころめねらふ。身の
やまれ。雲井の空に。かけとしを。かけてぞたのむ。
かりのこゑ。
- (三) 硯れうまは。あはくとも。恵みはふかき。父とこの。
そのまごころを。くまとりて。まさと盡せ。國のため。
- (四) せりのけくろ入。ひまごんと。まなびのかずを。あ
なぬれた。はまれまごも。かぞへあん。勉めよ
う。う。う。う。

○三景

- (一) おぼろ氣あらぬ。千代のまつしほ。もちたくの。う
すまのひま。明つすむ。とかきせり。
- (二) 丹後のまやづ。うち見きたせば。とやあまに。つ
けるまつ。けしきものすむ。はしだてや。
- (三) わを海ばらよ。まはみちくれバ。さなごらに。うか
べるばり。みや島やしる。はるうなり。

(松島)

(天橋立)

(嚴島)

くもらぬまよ
の。月かげの
夜や。あらか
もしろの。干
くまのむし
や。はたかり
らむらむら
くもらぬまよ

お ち じ 譜

5 1 6 たーま	5 - 3 ちーる	2 5 4 たーき	3 - 〇〇 もー
5 1 6 まーそ	5, 7 5 6 うーつー	7 - 6 あーま	5 - 〇〇 もー
5 4 5 くーも	1 5 5 - らーぬー	4 6 5 4 まーよー	3 - 〇〇 のー
6 7 6 つーき	6 - 5 のーげ	5 6 7 のーい	6 - 〇〇 ちー
5 1 6 あーら	5 - 5 あーま	2 5 4 まーろ	3 - 〇〇 のー
5 1 6 ちーぐ	5, 7 5 6 さーのー	7 - 6 むーま	5 - 〇〇 やー
5 4 5 はーた	1 5 5 - あーらー	4 6 5 4 いーどー	3 - 〇 ちー
6 7 6 うーり	6 - 5 ぎーり	5 6 7 すーあ	6 - 〇〇 くー

お ち じ 譜

6 6 6 5 とぼろげ	6 4 4 - ならぬー	6 6 6 5 ちよのま	6 4 4 - つしまー
とぼろげ	ならぬー	ちよのま	つしまー
たんどの	まやづー	うちみわ	よせばー
ほをうな	ばらにー	しやまち	くれバー
5 5 6 7 1 6 みあーのくー	5 - - のー	7 7 5 5 かすみの	6 - 5 - ひーまー
みあーのくー	のー	かすみの	ひーまー
まほあーまー	にー	つづける	まーつー
まながーらー	にー	うかべる	よーとー
7 7 5 5 あけつつ	6 - 6 - まーむー	4 5 6 7 5 わあみーど	4 - - りー
あけつつ	まーむー	わあみーど	りー
けしきも	うすむー	ましだーて	やー
みやじま	やしろー	はるかーな	りー

おきじく譜

1-122	3 2 1 2	3 3 3 4	5 - 0
ま-たたく	ひまにも	ゆきつす	と - -
5 4 3 2	1 2 3 4	5 6 5 3	2 - 0
めぐれる	くるまの	てつたう	よ - -
1-2 2	3 3 2 1	3 3 2 1	7 - 0
は-あは	えやまの	はるとて	- - も
5 5 6 6	5 - 3 2	2 2 2	2 3 - 0
なにはの	そ-らの	つきの	よも -
5 - 3 2	1 1 2 2	3 5 6	321 - 2
み-よや	あがめよ	ぞ - の	みやびを

○鐵道の歌

またよく。ひまよも。めき津洲を。めぐ
 れる。車くるまの。鐵道てつだうよ。はなの。みやこの。
 はるとても。まにりの。そらの。月の夜つきよ
 き。まよやの。ながめよ。そのまやびを

なれ じ く 譜

6 3 3	3 3 4	4 2 4	3 ○	2 7 2
そもそ	ききやう	まらまら	は	にひやく
3 3 3 6	7 1 7	6 ○	6 3 3 3	3 3 4 4
ねんたい	にきはひ	て	まやこの	いーちは
4 2 4	3 ○	2 7 2 3	3 3 3	7 1 7
たへい	あ	めいぢの	みよと	なりぬれ
6 ○	6 6 7 1	1 1 1	1 7 6 7	3 ○
ば	とつくに	びとの	まらばり	も
2 3 4 2	5 5 2	3 2 3	1	6 6 7
げぎに	つれて	いにしへ	の	まらばり
1 1 1	1 7 6 7	3 ○	2 3 4	5 5 5
かたを	とりひろ	げ	まんりの	はりに
5 2 3 2	1 ○	1 1 7 6	5 5 5	6 6 5 4
うめたて	あ	まなぶは	をんを	を奈どに
3 ○	6 7 1 2	3 3 3	6 6 5 6	7 ○
と	やちもあ	ぎさを	わらかめ	て
3 2 1 1	1 1 1	6 6 1 1	3 ○	1 1 7
むくいの	さすの	おまぶと	る	ことも
1 6 7 1	2 2 2 2	7 ○	3 3 2 1	1 1 1
かやす	むざなと	あ	いそあ	せそ
6 6 4 4	3 ○	2 3 4	5 3 1 4	2 2
まぎあか	ば	そのい	さとを	え
1 1 1				
ならん				

○市區改正の歌

抑東京。町くつ。二百年來。にぎはひて。都の
一よ。稱へしも。明治の御代と。成ぬれを。外國人
の。まじはりも。まげさあつきて。いましへの。ま
ちわりかたを。とりひろげ。まん川堀に。うめたて
地。品川せんを。港にと。おちもなぎさと。あらた
めて。むかしのさまの。おもむく。事もたやすさ
業ならず。五十百とせを。まぎあは。そのさと。
しを。見るあらん。

○西郷隆盛翁を吊ふ歌

頃^{ころ}の過^{すま}にし。明^{めい}治^しの十^{じゅう}年^{ねん}。時^{とき}めく色^{いろ}り。櫻^{おう}島^{じま}。學^{まな}びの群^{むれ}
 の。騷^{さわ}立^{たち}て。劔^{つるぎ}の場^ばの。稻^{いな}妻^{つま}に。首^{かしら}顯^{あらは}す。其^{その}の^{ひと}人^{ひと}の。維^ゐ
 新^{しん}の動^{うご}。あまたある。中^{なか}にもあるさ。西^{さい}郷^{がう}の。隆^{たか}盛^{もり}翁^{おきな}と。
 聞^きえてぞ。官^{くわん}軍^{ぐん}方^{がた}も。たもみあるく。斬^{きり}つまくりつ。討^{うち}す
 くめ。木^き留^{どめ}八^{はち}代^{だい}。田^た原^{はら}坂^{さか}。攻^{せめ}口^{くち}の。戰^{たたか}ひに。寄^よせてい
 返^{かへ}す。人^{ひと}の波^{なみ}。いかに武^ぶ士^し。猛^{たけ}くとも。直^すある道^{みち}に。う
 ちはすい。天^{てん}の咎^{とが}めぞ。怖^{おそ}しき。儲^{たくわ}こそ遂^{つひ}に。城^{しろ}山^{やま}れ。
 露^{つゆ}と消^きにし。玉^{たま}の緒^{いと}の。風^{かぜ}に木^きの葉^はの。散^ちる思^{おも}ひ。榮^{えい}花^{がわ}
 の夢^{ゆめ}を。罪^{つみ}科^がに。換^{かへ}てし身^みこそ。うたてけれ。然^{しか}のあれ
 とも。昔^{むかし}より。罪^{つみ}を咎^{とが}めて。人^{ひと}迄^{まで}を。咎^{とが}めぬもの。と。諺^{ことわざ}
 に。違^{たが}ぬ惠^{めぐ}み。垂^たれ玉^{たま}ひ。汚^{けが}れの名^なをも。そよびせて。

千^ち代^よに譽^{ほまれ}と。殘^{のこ}さする。仰^{おほ}せとある。かこころを。ござや
 翁^{おきな}も。悦^{よろこ}ばん。稟^{うり}けよ仰^{あか}けよ。この御^みこころと。

○桃太郎の歌

いつれ昔^{むかし}の。事^{こと}あらん。柴^{しば}刈^{かり}る翁^{おきな}。衣^{きぬ}洗^{あら}ふ。媼^{おきな}と二人^{ふたり}。
 住^すにける。一^{ある}日^ひ媼^{おきな}い。川^{かは}に出^いで。流^{なが}る桃^{もも}と。拾^{ひろ}ひ上げ。
 宿^{やど}戻^{もど}りて。語^{かた}ひし。其^{その}の夜^よに桃^{もも}い。割^われ譽^{ひめ}う。生^うれ出^{いで}
 たる。嬰^{みどり}兒^こい。玉^{たま}と欺^{あざむ}く。美^{うつく}しさ。翁^{おきな}媼^{おきな}も。共^{とも}に。悦^{よろこ}
 び舞^まひて。育^{そだ}て上げ。其^{その}の名^なも桃^{もも}の。太^た郎^{らう}ぞ。付^つて明^あ
 暮^{くれ}。愛^いしみ。頓^{やが}て大^お人^{ひと}よ。成^{なり}ぬれば。太^た郎^{らう}の腰^{こし}に。黍^{きみ}團^{だん}
 子^こ。附^つ添^そふ猿^{さる}に。犬^{いぬ}雉^{けし}子^こ。鬼^{おに}が島^{しま}へと。さし連^つて。出^い立^{だつ}
 さまも。嚴^いかめ。青^あや赤^{あか}黒^{くろ}。鬼^{おに}共^{ども}の。戰^ある。慄^{おそ}ま。ひれ臥^ふ。
 て。數^{あま}多^た寶^{たから}を。積^つ重^{かさ}ね。詫^わる詞^{ことば}よ。黙^う頭^{づき}て。太^た郎^{らう}の之^{これ}を。受^う

納免おまの故郷ふるさとさして。歸かへり來くる。翁媪おきなおばあの悦よろこびハ。黄金花こがねばなこ
く。心地こころして。何なにもたどへん。ものもあし。

○衛生せいせいかぞへうた

一つとや 人の何なにより。衛生せいせいの。あしせいの。

そちを守まもるが。孝行かうこうぞ。かうかうぞ

二つとや ふだんに煮炊にたきと。こころづけ。心付こころづけ。

水みづからゑらとて。遣つかふべし。けうふべし

三つとや みねらぬ菓くだもの。もらふとも。貫つらふとも。

口くちにふれぬは。何なによりぞ。何なによりぞ。

四つとや 宵寝よひねおそ起おき。するひとの。そるひとは。

たべたる物ものさへ。こなれまじ。こなれまじ

五つとや いつもの風邪かぜぞと。侮あなはらば。あふどらむ。

重おもさやまひに。ありぬべし。成なぬべし。

六つとや むやと薬くすりと。のむよりも。吞のむよりも。

食事しょくじよこころに。用もちふべし。用もちふべし。

七つとや 夏なつはことさら。飲水ののみに。のそみづに。

こころもるさぬ。時ときぞの。とたぞのし。

八つとや 病やまいは口くちより。入りやせし。いりやせし。

じこふとがめい。誤あやまりぞ。あやまりぞ。

九つとや 氷こほりいかはきた。止とどむるも。とむむるも。

ほせをそごそい。腹はらの毒どく。はらのとく。

十ととや 時ときをよびして。酒さけのむい。さけれむは。

いづれ病やまいの。たねならん。種たねならん。

明治廿二年七月十六日出版

版權
登錄

東京市本所區

松井町三丁目十番地

編輯兼
發行者

吉澤富太郎

全市神田區

花田町壹番地

印刷者

宇都宮榮太郎

發賣所

本所區松井町

開文堂書舗

13

072678-000-0

特62-69

唱歌のさきがけ

開文堂

M22

CEH-0196

